

## IV 教育におけるICT活用に関する基本的な考え方

全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するため、ICTは基盤的なツールとして必要不可欠です。これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていくことが必要となります。

### 1 学校教育の質の向上に向けたICTの活用

ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪とした、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目標とします。

カリキュラム・マネジメントを充実させ、各教科等で育成を目指す資質・能力等を把握した上で、ICTを「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かすとともに、従来は伸ばせなかった資質・能力の育成や、何度も繰り返し編集・校正ができるよさや同時双方向で情報を共有できる利点を生かした学習活動の実施、家庭等学校外での学びの充実を図ります。

時間的・空間的な制約を超えるICTの特性を最大限活用した、不登校や病気療養等により特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会の提供等を行います。

### 2 ICT活用において大切にすべき視点

ICTは教師と児童生徒との具体的関係の中で、児童生徒自身がICTを自由に活用できるよう努める一方で、教育効果を考えて活用することが重要であり、活用自体が目的化しないよう留意する必要があります。

健康面を含め、ICTが児童生徒に与える影響にも留意するとともに、利用方法について児童生徒と一緒に責任ある利用方針を立てるなどした上で、機器の扱いや管理を児童生徒に任せていく必要があります。

対面指導の重要性、遠隔・オンライン教育等の実践による成果や課題を踏まえながら、発達の段階に応じて、ICTを活用しつつ、教師が対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなすこと（ハイブリッド化）で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を展開していく必要があります。

そのためには、教材研究の際、デジタルかアナログかといった二項対立ではなく、これまでの実践とICTとをどのように組み合わせるかを研究していくことが大切です。

### 3 ICT機器, 1人1台端末の活用例

こんな使い方が考えられます！

(「A1」～「C4」は「ICTを活用した指導方法(学びのイノベーション事業実証研究報告より)」の「学習場面に応じたICT活用事例」に示された分類による。)

気付く

#### 【A1 教員による教材の提示】

児童生徒が書き込んだ画像をモニターやスクリーン等に拡大提示したり、音声、動画などを再生したりする取組

いちき串木野市立生福小学校における実践例

事前に Google Forms で集約した考えを AI テキストマイニングで解析し提示することで本時の課題を設定することができました。

「AIテキストマイニング」など、事例で出てくる言葉がピンと来ない方は、検索して調べてみましょう。分からないことがあったら調べて学ぶ。これも子供たちに身に付けさせるべき重要な情報活用能力の一つであり、私たち教師自身も身に付けておくべきスキルです。



「なるほど。みんなはこのように考えているんだ。それじゃあ今日は～について考えたいな。」

#### 【B1 個に応じる活動】

一人一人の習熟の程度に応じた学習を支援する取組

垂水市立水之上小学校における実践例

ロイロノートの資料箱(子供が自由にアクセスできるフォルダ)にヒントカードを準備することで問題解決の手掛かりにすることができるようになりました。

「まずはヒントカードに書いてある考えを使ってやってみよう！」



見通す

#### 【B2 調査活動】

インターネットを用いて情報収集をしたり、写真や動画等により記録したりする取組

県立松陽高等学校における実践例

探究的な学び(課題探究)の場面において、文献やインターネット等を用いて情報収集した内容を基に考えを整理し、文書作成ソフトを活用してレポートにまとめ、発表する活動を行いました。

推敲の段階でのレポートの修正が容易であり、何度も修正、検討を繰り返しながらレポートを完成させることができました。

同様な取組は、中学校の総合的な学習の時間や国語科等でも見られる内容です。



#### 【B3 思考を深める活動】

シミュレーションを行う際、デジタル教材を用いて思考を深める取組

出水市立鶴荘学園における実践例

他者によりよく伝わる英作文を作成するため、何をどのような順序で書けばよいか整理するシンキングツールを使って伝えたい内容を整理したり、構成を検討したりする活動を行いました。



広げる・深める

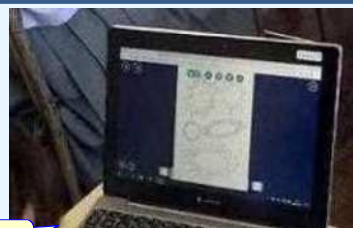
【B4 表現・制作】

マルチメディアを用いて資料，作品を制作する取組

鹿児島市立吉田南中学校における実践例

ロイロノートの資料箱に入れてある様々な抽象形の画像を端末上で自由に組み合わせたり着彩したりして自分の主題に合う形になるよう構想を練りました。

「やり直しもできるからいろいろ組み合わせで考えられたよ。」



【C1 発表や話し合い】

グループや学級全体での発表・話し合いにおける取組

鹿屋市立吾平中学校における実践例

「共有ノート」(同時に何人もが書き込める)機能を用いて、互いの実験結果を入力し合い、複数の実験結果を基に考察しました。

「自分たちの班の実験データだけでなく、他の班の実験データも共有できたから多くのデータを基に考察することができたよ。」



【C2 協働での意見整理】

複数の意見・考えを議論して整理する取組

曾於市立末吉小学校における実践例

ロイロノートの共有機能を活用することによって友達の考えを吟味しながら自分の意見に取り込み、考えを広げました。



まとめる・振り返る

【C3 協働制作】

グループでの分担，協働による作品制作の取組

始良市立帖佐小学校における実践例

理科の課題解決の方法をロイロノートのアンケート機能(自由に自分の考えを記述し、みんなで共有できる機能)を活用して児童相互に回答して、その結果を集約・分析し、友達のことを参考にした上で班ごとに発表する資料作成に生かしました。



【C4 学校の壁を越えた学習】

遠隔地や海外の学校等と交流する取組

鹿児島市立山下小学校における実践例

「鹿児島の魅力」について作成したリーフレットを使って広島市の学校の友達にリモート紹介する活動を行いました。

「遠くにいる友だちにも鹿児島の魅力を伝えることができたよ。」



家庭学習

【B5 家庭学習】

情報端末の持ち帰りによる家庭学習の取組

霧島市立陵南中学校における実践例

授業と家庭学習が連動するよう、国語科や外国語科では音読の練習をし、その成果を録音して提出するようにしました。

また、数学科や理科では、週末課題を配信し、週明けの授業で確認するようにしました。

教科の学びを深めるために、児童生徒がどのようにICTを活用する姿をめざしますか。(4月)

-----

-----

-----

ICTの活用により、教科の学びはどのように深まりましたか。(3月)

-----

-----

-----

#### 4 ICT活用に関する情報

鹿児島県総合教育センターWebサイト

下の二次元コードから様々な実践例が見られます。  
アクセスしてみましょう。

( <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/GIGAschool/top.html> )

- 鹿児島県GIGAスクール構想の実現に向けて
- ICT活用に関する資料
- 授業で活用できるプログラミング教材(「みんなのコード」提供)
- 市町村教育委員会による取組紹介リンク
- NHK for School リンク
- 「教育の情報化」に関する情報リンク



国立教育政策研究所Webサイト ( <https://www.mext.go.jp/studxstyle/> )

- 文部科学省「StuDX Style」(スタディーエックススタイル)
  - 教師と子供がつながる
  - 子供同士がつながる
  - 学校と家庭がつながる
  - 職員同士でつながる
  - GIGAに慣れる(文房具や教具として使えるようにする)



鹿児島県ICT推進室

- Microsoft Teams 「かごGIGAインフォメーション」
- 通知文「GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用及び適切な運用等について(通知)」(鹿教義第472号令和3年9月28日)

